

# We 35R

No.400 18/06/29



## 最高の演奏を

合唱祭は（アンコールの夢はかなわなかったが）素晴らしい結果になって本当によかった。中心になってみんなを引っ張ってくれた●●さん、●●さん、●●くん、●●くん、●●くん、本当にありがとう。35Rの合唱祭に対する「思い」は、「連覇」ではなくて、「今までで最高の演奏をする」だった。そして、それをきっちりやってのけたと思う。そういう君たちを担任として誇りに思う。

会場を出たあと、多くの先生方から「おしかったですね～。3年生はどのクラスも素晴らしく、甲乙つけがたかったけれど、優勝は32Rか35Rのどちらかだと思ってました」と声をかけられた。多くの先生方が、35Rの合唱を心から素晴らしいと思って下さったのだ。同時に、3年生全体のレベル高さをお褒めいただけただけことも、担任団の一員として本当にうれしかった。

しかし、それは逆に言えば、優勝の期待をしながら演奏を聞いている身としてはドキドキの連続で、2番目の36Rの合唱では心臓が止まりそうな感じであった（笑）。結局、2曲とも完成度が高かった3クラスが入賞したと印象だが、どのクラスも1曲はかなりのレベルに仕上げられてきていて、さすが3年である。

32Rは、一曲目が個性的な面白い歌で、その個性を生かした歌唱がとても魅力的だった。一曲目「絶望」+二曲目「希望」というテーマの組み合わせも工夫されていて、残念だが35Rと同じレベルに達していたところか（笑）。

●●先生に結果を伝えたら、「納得のいく演奏ができたならそれが一番。これだけ難しい曲をよく音楽的に仕上げられたなど感嘆しています！」と返事をいただいた。この演奏は、きっと君たちの記憶に刻まれたことだろう。

